

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	上富田町立 岡小学校	山本 義二
学校所在地		
(〒 6 4 9 - 2 1 0 1) 和歌山県 西牟婁郡上富田町 岡 6 3 8 - 1 tel 0739(47)2027 fax 0739(47)6114		
担当者名		役職名・担当教科
田中 達也		教諭・情報
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
1 学年 6 年生 1 2 名	4 名 職員 4 名	岡小学校
実践研究テーマ		
地域との関りを深め、ふるさとを愛する心の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間 「岡の歴史を探ろう」	上富田町の誇る世界遺産、自分たちが魅力を伝えよう！	
〔キーワード〕 世界遺産学習 ふるさと学習 地域の歴史 地域の交流		
〔単元目標〕 (1)ふるさとの歴史や文化、世界遺産について学習し、学習したことを発信することができる。(表現する力) (2)活動を振り返って自己評価ができ、自分のよりよいあり方、生き方を考えることができる。(自己を評価する力) (3)今回の体験で学んだことから、自ら課題を設定し、学習を深めることができる。(課題設定の力)		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 10 時間 （ 「 岡の歴史を探ろう 」 5 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 (1) 岡地区在住の方・・・地域の伝統であるひょうたん栽培や加工についての学習 (2) 熊野高校生徒・・・ひょうたんの植え方やお世話のしかたについて学習 (3) 和歌山県世界遺産センター・・・次世代育成事業(世界遺産入門、現地学習) (4) 世界遺産マスター・・・次世代の育成事業(現地学習)		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1、ひょうたんの栽培	・地域の方とともに、ひょうたんの育成、収穫を行う。	(学びに向かう力、人間性) 観察 自己評価
2	2、ひょうたんの加工	・収穫したひょうたんを加工し、地域の伝統文化に触れる。	(思考力、判断力、表現力) 成果物
3	3、田中神社訪問	・校区内にある世界遺産「田中神社」を訪れ、身近な世界遺産について学ぶ	(学びに向かう力、人間性) 観察 自己評価
4	4、世界遺産センター職員の土永氏を招き、事前学習を行う。 5、世界遺産「田中神社」「八上王子」「稲葉根王子」を訪問。ごみ拾いの実施。	・世界遺産についての知識を深める。 ・上富田地域の世界遺産を訪問し、世界遺産を美しく保ってきた人々の思いについて想像し、世界遺産の清掃活動を体験する。	(学びに向かう力、人間性) 観察 自己評価
5	6、世界遺産新聞づくり 7、学習発表	・「和歌山県の世界遺産」について個人でまとめる。 ・新聞をクラスで発表する。	(思考力、判断力、表現力) 成果物
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>自分たちが住む上富田町の誇る世界遺産について学びを深めた。まずは、自分たちの身近なところである岡地区の学習から始めた。岡地区は昔から、ひょうたん作りが有名ということもあり、今年度は、ひょうたんの栽培から加工までを地域の方や、地元の高校生と協力して行った。また、学校の近くにある世界遺産の一つ「田中神社」を図工の時間に訪れ、その様子や歴史的建造物を見学したり、スケッチしたりした。そのような取り組みもあり、子どもたちは、自分たちが住んでいる地域は、歴史的にとっても貴重な場所であること、また、世界遺産だけでなく、地域独自の伝統が残っていることも実感したはずである。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>上記に述べたことから、子どもたちは、自分たちの地域が世界的に見ても特別な場所であることを学んだ。しかし、世界遺産マスターに「君たちの地域の自慢できる場所は？」と問われたときに答えられる児童がいなかったことから、自分たちの地域の歴史的価値について、知識では理解していても実感が持てていなかったのだろうと考えられる。しかし、実際に地域の世界遺産を見て歩くことで、自分たちの住む地域が素晴らしいものであり、これまで多くの人の努力で守られてきたものであるということが実感できたはずである。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>本校の子どもたちは、世界遺産に身近な環境で生活をしているが、その意識を持っていない児童がほとんどである。「世界遺産学習」を教育計画に位置づけ、継続的に学習に取り組んでいくことで、自分たちの住む地域の歴史的価値に気づかせていきたい。今回の学習を通して、本校の6年生は、自分たちの地域が世界的にも貴重な場所だということを実感できたはずである。しかし、毎年、今回の事業に参加できるかどうかは不透明なところである。今後も継続的に和歌山県の世界遺産についての学習を続けられるように、学校独自で取り組んでいかなければならない。</p>			

様式 2

令和 7 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[報告書 学習記録・活動写真]

